広島大学

第 173 回 学長定例記者会見　お知らせ事項 2

令和 6 年 11 月 29 日

内閣府「総合知ワークショップ」を開催します（12/17 開催）

近年、『総合知』（＊）の活用が研究開発や専門人材育成の現場でますます重視されています。「第４期中期目標期間における広島大学のあるべき姿」の実現に向けて広島大学が重点的に取り組む５つの事項「President 5 Initiatives for Peace Sciences－新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)－」（2023 年公表）においても、『総合知』を活用しつつ社会の安全保障に資する教育研究活動の成果を通じて人々に安心をもたらすことが目標として掲げられています。

本ワークショップは、内閣府が取り組んでいる総合知キャラバンの一環として実施するもので、学術、産業、行政、地域社会など、幅広い立場の皆様にご参加いただき、広島大学の最先端研究プロジェクトにおける「総合知」の実現に向けた具体的な事例や課題等についての議論を深める場としたいと考えています。
みなさまのご参加をお待ちしております。

（＊）総合知：多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと
※「「総合知」の基本的考え方及び戦略的に推進する方策 中間とりまとめ」資料より
https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/kihon.html

記

【日時】 ２０２４年１２月１７日（火）９：００～１１：３０

【会場】 広島大学 霞キャンパス 放射線先端医学実験棟 5F 講堂
※ハイブリッド開催

【講演者】
奥原啓輔 プラチナバイオ株式会社　代表取締役 CEO
山脇成人 広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター　特任教授

【対象】 どなたでも参加できます

【定員】 90 人

【申し込み】 https://forms.office.com/r/iZHTGFPkJM

【イベント HP】 https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/news/86805

【お問い合わせ先】

広島大学 学術・社会連携室 未来共創科学研究本部
共創科学基盤センター　宮良
TEL:０７０-６６４５-２５８３

内閣府 総合知ワークショップ @広島大学

未来ビジョンから考える総合知を活用した課題設定・人材育成

「総合知」とは、「多様な「知」が集い新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと」と定義されています。本イベントは、広島大学の2つの最先端研究プロジェクトを通して、地域や国際社会が抱える様々な問題（食物アレルギー、デジタル化による次世代の保育・育児など）を産・学・官のさまざまな視野で考え、取組み、解決につなげていくことを目指すワークショップです。

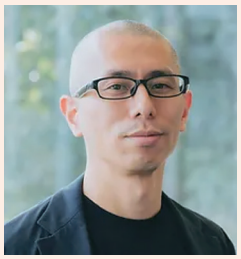
参加費 無料

日時 2024年12月17日（火） 9:00～11:30 ハイブリッド開催

場所 広島大学 霞キャンパス 放射線先端医学実験棟5F講堂

定員 /90名　参加対象 / どなたでも（広島大学の教職員、地方自治体や関連団体・企業の方など）

講師



「共創の場」から社会課題を解決する

プラチナバイオ株式会社
代表取締役CEO
奥原 啓輔氏

プロフィール

広島大卒。JST、内閣官房知的財産戦略推進事務局、東広島市職員を経て、広島大の山本卓教授とJST-OPERA「ゲノム編集」産学共創コンソーシアム(2016-2020)やCOI-NEXT「バイオDX産学共創拠点」(2020-)を構築、運営。2019年から現職。

“脳とこころ”から見た総合知による社会課題解決

脳・こころ・感性科学研究センター
特任教授
山脇 成人氏

プロフィール

広島大卒。国立呉病院精神科医師、広島大学医学部教授を経て、2018年から現職。専門はうつ病の臨床と脳科学。AMED脳科学研究戦略推進プログラムうつ病拠点長(2016-2020)、JST革新的イノベーション創出プログラム(COI)感性イノベーション拠点研究リーダー(2013-2020)。

プログラム

【2.5時間】 ■司会: 理事・副学長（研究担当）

- 9:00～ 開会の挨拶　理事・副学長（研究担当）
- 9:05～ 内閣府からの説明
- 9:25～ 事例紹介・質疑応答
- 10:25～ 全体ディスカッション（司会：内閣府）
- 11:25～ 閉会の挨拶
  理事・副学長（社会連携・基金・校友会担当）

参加申込

事前の参加申し込みをお願いします。
https://forms.office.com/r/iZHTGFPkJM

【参加申し込み期限】
12月16日（月）まで

広島大学　ELSI Hiroshima

主催 広島大学 / 内閣府
問い合わせ先 広島大学共創科学基盤センター　E-mail：husympo@hiroshima-u.ac.jp

内閣府

President 5 Initiatives for Peace Sciences
ー新しい平和科学（安全・安心を実現する「創る平和」）ー

広島大学

- ✓ 「第４期中期目標期間（2022-2027）」における広島大学のあるべき姿の早期実現
- ✓ 広島大学の強みである「総合知」を活かし、安全保障に資する教育研究活動の成果を通じて人々に安心をもたらす
- ✓ 大学が組織として社会貢献にコミットすることで、大学経営改革の加速
- ✓ ステークホルダーとの連携、学内組織や既存の活動との連携を強化しながら大学の機能を拡張

1 イノベーションと経済安全保障に貢献するための半導体エコシステム形成

- 世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)
- 地域の中核大学の融合拠点の整備（「半導体産業技術研究所」、「デジタルものづくりイノベーション拠点」等）
- せとうち半導体コンソーシアム
- 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業

2 ワクチン、医薬品開発、再生医療、細胞治療を通じた地球規模の健康安全保障への貢献

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業（GMP）

3 平和のための総合的な放射線災害管理

- 放射線影響研究所（RERF）が広島大学霞キャンパスへ移転

4 海洋・海事のガバナンスと持続可能性のためのアジア拠点形成

- 世界海事大学（WMU）との包括協定
- 呉市、海上保安大学校、笹川平和財団と呉市 Town & Gown構想に関する４者包括協定
- 船舶・造船工学の拠点化
- 瀬戸内CN国際共同研究センター

5 途上国の栄養改善に資する畜産業改革による食料安全保障

- Bill & Melinda Foundationからの研究助成
- ベトナム北ハノイに広島大学農学系キャンパスを開設（ベトナム農業省との連携）